

## 2002年10月13日 主日礼拝

司 会 ①金子兄 ②多田哲兄 ③中村勝兄

奏 楽

賛 美 讃美歌66

使徒信条

賛 美 讃美歌291(愛と賛美み父にささげ)

祈 禱 ①水間兄 ②川田兄 ③高木師

聖 書 マタイによる福音書15章1～20節

音 楽 ①伊藤&高野組 ②③ミニスターズ

メッセージ 『神の命令のうらおもて』 大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)

主の祈り

祝 禱

『両親を尊敬しなさい。そうすれば、何不自由なく、長くしあわせな一生を送ることができる。これは神の命令だ。』 (申五の一六 L・B)



以前この教会に来られた日野原重明先生は、聖路加国際病院の理事長の他、六つの理事長を務め、会長職はいくつあるのか、本人でも正確には分からないほどの要職についておられる。その多忙ぶりは“常人の域”を脱している。まさにスーパーマン、快物である。(アゴラ誌10月号)

例えば、この取材の前日。原稿の執筆で睡眠が一時間余りにもかかわらず、日中は鎌倉市でホスピス患者とその家族の面談に応じ、その後、数百人の聴衆を前に講演をこなし、さらに帰宅後にデスクワークを一時間。取材当日の朝は、病院到着後の8時半からすぐ病院スタッフとの打ち合わせ、続いて外来診察。午後は小誌を含め、二誌の取材を受け、その後入院患者二人を回診し、院内での会議へ。夕刻には、来日するアメリカ人の友人を迎えての食事会。

こんな調子で一週間に一度は徹夜状態になり、普段の睡眠時間はきっかり五時間だけという。それでいて、「エレベーターを待つよりよっぽど早いから」と、階段を一段飛ばして駆け上がる。空港では、動く歩道を使わない。重さ十キロのバッグを両手に、動く歩道上にいる人をサット追い抜くのを楽しみとする。これが91歳を数える、「生き方上手」の驚くべき日常である。

90歳まで元気で活躍したいと祈っている大川牧師にとって、お手本になる生活である。こういう生き方を「自己充足的生き方」という。

しかし、「生き方ヘタ」でも良い。短命でもかまわない。病気がちで、あまり社会的には貢献していなくても大丈夫、主イエス様は「傷ついた葦を折ることなく」「煙れる灯心を消すことなく」、すべての人を愛し、生かしてくださる。そんな生き方を「自己超越的生き方」という。福音とはまさにそれである。

ヘタでも上手でも、主の聖名が崇められるように生きる。それをキリスト者という。ピリピ1の20～24。

### 【大和ニュース】

- ・本日、高木國男伝道師の牧師接手礼式をいたします。おめでとうございます。
- ・明日(体育の日)午後1時より「青年・学生ミッション2002」が開かれます。講師は平岡先生。すばらしい賛美とメッセージの祝日となります。お楽しみに！
- ・本日、入門Ⅱ、子聖、手話、学生会、青年会、囲碁、ゴスペル、フルーツバスケット、SS主任会議、インターネット宣教会、カレブ会BQ等あり。
- ・水曜祈禱会(夜7時半)に、韓国聖潔教会より李重台教授が来られます。木曜は大川牧師。
- ・武井聖書教室は、火曜朝10時半より。シャローム館にて。無料。
- ・家庭集会は、相武台(水曜10:30)、相模原矢部(金曜13:30)、立野台(金曜13:30)です。お祈りください。
- ・深夜祈禱会は、金曜夜9時より。説教は木村政男兄(JTU神学校)。
- ・バザーが近づきました。よろしくご協力ください。
- ・土曜礼拝は、夜8時～9時。説教は、井澤豊師。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース: Iテサロニケ1章～IIテサロニケ2章 Bコース:イザヤ50章～エレミヤ2章